

ケンタッキーフライドチキン

昨年10月の夕方の出来事である。

その日、夕方6時に仕事が終わった後、私が車で15分ほどのケンタッキーフライドチキンショップ（山形北ジャスコ1階）に行き、ノーマルなフライドチキン6個とコールスローサラダ（Mサイズ）2個、さらに、その日に娘が食べたいと言ったスパイシーチキン3個を購入し持ち帰った。

夕方6時過ぎなので、夕食の準備のためか、ケンタッキーの店舗は混み合っていたが、10分ほどの待ち時間の後に購入した商品を受け取り、代金の支払いをして家路についた。

早速、家に帰って家族で食べようと食卓に商品を広げてみたら、スパイシーチキンが無かった。「パパ、スパイシーチキンも食べたいって言ったのに」と娘から言われた。「注文するの忘れたんでしょ」と言われ、私も自信が無くなって、商品の袋に入れてきたレシートを確認した。レシートにはスパイシーチキン3個分も記載されていた。つまり、その注文もして代金も支払ってきたのだ。

「車に忘れたんじゃないの」とも言われたので、車の中も探してみたが、もちろん無かった。

ショップの電話番号を調べて電話した。「あの、さっきフライドチキンを買って持ち帰って、見たら、フライドチキンとサラダはあったんですけど、注文して代金も支払ったはずのスパイシーチキン3個が袋に入ってなかったんです・・・」と話したら、電話に出た男性の方が、「お客様、大変申し訳ありません。うちの方で商品をお渡し忘れたものと思われます。すぐにお届けにあがります」との回答。私は、「レシートもあるので、それを持って私が店舗に伺いますけど」と話したら、「とんでもございません。私どもの方でお届けにあがります。お客様の住所をお知らせください。すぐにお届けいたします」とのこと。

待つこと20分ほど。さきほど電話で対応して頂いたと思われる男性の方が、玄関先で「お客様。この度は大変失礼いたしました。今後はこのようなことが無いように気をつけてまいります。スパイシーチキン3個と、あとはほんのお詫びのお気持ちですので」と言って、揚げたての熱々のスパイシーチキン3個の袋のほかに、スパイシーチキンがもう3個入っている袋を頂いた。

家族で、その経緯を何度も繰り返し話ながらの食卓となった。「本当は受け取って食べちゃったのに、袋に入ってなかったとか言う人がいるかも、とか考えなかったのかな」、「でも、おかげでスパイシーチキンいっぱい食べれて良かったね」、「住所からナビで調べたとしても、届けて頂いた対応がすごく早いよね。しかも、ものすごく丁寧」、妻や娘はその対応に感心しきり。

私は、妻と娘に、ケンタッキーフライドチキンの創業者カーネル・サンダース氏が熱心なロータリアンであったこと、店舗の前に立っているカーネル・サンダース氏の胸にはロータリーバッジが光り輝いていることを自慢げに話した。

その日は、いつもより、フライドチキンがさらに美味しく感じた。